

# 泰らぎ

Vol.50  
2018年  
秋号



～広報誌創刊当時の直方中村病院～  
(2006年頃撮影)



温故会

温故会  
直方中村病院  
福岡県認知症医療センター  
<http://www.onkokai.jp/nakamura/>  
編集・発行 直方中村病院広報委員会



- P1 表紙・目次
- P2 中村理事長より  
【活動のご紹介】
  - ・直方中村病院慰霊祭&サマージャンボ大会
- P3
  - ・家族会
  - ・外出活動 福智山ダムへ
  - ・広報委員会より
- P4 平成30年度 筑豊地区 福岡県認知症医療センター合同研修会

# 中村理事長より

このたびの北海道胆振東部地震並びに7月の西日本豪雨により被災された皆様に、お見舞い申し上げますと共に、不幸にもお亡くなりになりました犠牲者の皆様に心からお悔やみ申し上げます。また、被災地で日夜懸命に要医療介護者等の支援に当たっておられます多くの医療関係者の皆様のご苦勞に対し、敬意と感謝を申し上げます。

災害に対して私たちの出来ることは、「情報・訓練・備え」であります。残念ながら当院では「備え」所謂、飲食料の備蓄のみクリアしています。火災訓練は定期的に行っていますが、風水害、地震に対しては当院だけでなく、他病院、地域、市町村、福岡県との連携が必要となって参ります。

前回の大雨で被害のあった近医の病院には物資を提供いたしました。また台風接近の際には、ご近所、隣組にも声換えを行いました。以上のことから、先ずは地元から防災について申し合わせておくことが「情報と備え」に結びついていくのだと思います。

直方中村病院と介護老人保健施設すこやかは、有事の際の支援施設としての準備を整えていかねばなりません。近年の異常気象と多岐にわたる災害を振り返り、思うところがございます。



## 活動のご紹介

### 直方中村病院慰霊祭&サマージャンボ大会 ～作業療法室より～

当院で毎年行っている年間行事、慰霊祭を実施しました。今年も、一年を通して亡くなられた物故者様に対して、ご住職様の読経と説法を聞いて焼香を終えました。患者様はOT室に集まり、静かに線香をあげられていました。

そして午後は…“**サマージャンボ大会**”  
今年はチーム対抗で4つのミニゲームに挑戦しました。

1つ目は**チーム対抗ビンゴ!**

いつもは個人戦で行うビンゴですが今回はチーム戦。チーム全員がビンゴになるよう、声を掛け合っておられました。上位4チームには豪華景品も!

2つ目のゲームは、**サマージャンボ!**

この名を聞いて思い浮かぶのは…宝くじ!? 3桁の数字を並べて1等を目指します。見事3桁すべて揃っているグループもありました。

続いては、**夏といえば〇〇ゲーム!**

夏と言えば～? 海～! スイカ! 祭り! このゲームでは、夏に関する30個のイラストをチームで協力して覚えます。21個も正解しているチームもありスタッフもビックリ!

そして最後は…**ひっばって景品ゲット!**

これはOTスタッフ渾身のゲームです。紐に繋がれた景品を見て参加者も狙いを定めます。欲しい景品を選び“せーの!” 紐をひっぱると、景品が浮かび上がります! 狙っていた景品がゲット出来て皆さん大満足。ゲットした景品を沢山持って、笑顔で戻られました。皆さんに喜んでもらえてよかったです。



# 活動のご紹介

## 家族会 ～急性期治療病棟より～

本年度第1回目の家族会を開催しました。  
大雨の中、6家族、10名の方が参加をしてくださいました。今回の家族会のテーマは、

**家族同士の情報交換・交流「疾患学習と自宅での患者様への対応の仕方を学んでいただく」**です。

講師は病棟スタッフ石川看護師です。退院後、困った症状への対応の一つとしてヒントになればいいという思いでこのテーマにしたそうです。今回の対象は**統合失調症**と**認知症**です。

統合失調症の症状にはどのような症状があるか、その時の対応、家族の接し方を説明させていただきました。

また認知症の親を持つ家族からは愚痴もあり。統合失調症はどのようなタイプの人になるのか。性格なのか？などの質問もありました。

今回の家族会は家族同士のコミュニケーションを取れる様にと考え、また**質問のしやすさ、演者と聴者との距離感**も考えた配置にしました。家族会担当スタッフもどういふ家族会を開催すればいいか日々考えています。

これからも多数のご参加をおまちしております。

また、第1回家族会に参加して下さったご家族の方、お忙しい所また大雨の中、御足労下さりありがとうございました。



## 外出活動 福智山ダムへ ～精神科療養病棟より～

今年は本当にとっても暑い夏でした。そんな中、患者さん数名で山のお茶屋さんにお散歩に出かけて来ました。

ちょうど台風の影響もあつてか、風もあつて丁度いい気候でした。山のお茶屋さんに着いたらとってもおいしそ～なソフトクリームが…。皆さん美味しい所に召し上がられていました。美味しいソフトクリームを食べたあとは福智山ダムに寄って帰ってきました。

当病棟では毎週どこかに出かけています。秋になると涼しくなるので、もっと色々な場所に行けたらと思っています。また次の散歩がたのしみです。



## ～広報委員会より～

広報委員長の梅野です。2007年より刊行されたこの「泰らぎ」も、先輩方の頑張りや、関わられた皆様のご支援もあり、50号という節目を迎えることが出来ました。

現在の委員会メンバーはまだ経験も浅く、まだまだ未熟であると痛感させられる日々であります。しかしながら、今後も直方中村病院の魅力を発信する大きなツールの一つとして、より皆様に興味を持っていただける内容になるよう、努力していきたいと思っています。

今後とも広報誌「泰らぎ」をよろしくお願ひいたします。



# ～地域医療連携室より～

## 平成30年度 筑豊地区 福岡県認知症医療センター合同研修会

平成30年8月25日(土)13時30分より、福岡県立大学大講義室にて、福岡県認知症医療センター筑豊地区を担当する飯塚記念病院、見立病院、そして当院の3センター合同で研修会を開催しました。

### 平成30年度 筑豊地区 福岡県認知症医療センター合同研修会 「若年性認知症について考える」～わがごと、他人事、まるごと社会の中で～

#### — プログラム —

##### 基調講演(13:30～14:50)

##### ①「福岡県若年性認知症コーディネーター 現状報告」

講師：福岡県若年性認知症コーディネーター  
中村益子氏



##### ②「認知症になっても、みんなと共に生きる」

講師：認知症サポート壺行の会  
福田人志氏



##### グループワーク(15:10～16:40)

議題：若年性認知症患者の支援について

##### 全体会(16:45～17:00)

グループワークの報告会・全体のふりかえり

当日は194名の方に参加していただきました。基調講演では福岡県若年性認知症コーディネーターの中村さんに若年性認知症コーディネーターへの相談内容や現状報告について、講演をしていただき、若年性認知症当事者である認知症サポート壺行の会の福田さんに当事者の思いや、現在行っている活動について講演をしていただきました。グループワークでは、他機関・他職種の方と若年性認知症患者の支援について話を共有でき、貴重な体験になりました。アンケートは137名の方にご回答いただきました。所属機関は、居宅介護支援事業所・医療機関・地域包括支援センターの順に多く、訪問介護事業所・通所サービス事業所と少数ですが、幅広く回答をいただきました。「福岡県内に若年性認

知症コーディネーターが1名しかいないことに驚いた」「若年性認知症コーディネーターの詳しい相談内容や現状について知ることができて参考になった」「初めて若年性認知症当事者の話を聞いた」「当事者の思い、悩み、苦しみ、何をきっかけにどう乗り越えてきたか、よく分かった」「今後の業務に活かしていきたい」等のコメントがありました。今後もより良い研修の機会を提供できれば、と感じました。

今回もお忙しい中、多くの方に参加していただきまして、感謝申し上げます。また、飯塚記念病院・見立病院の両センターの事務局、スタッフの皆様と協議を重ね無事に終わることができましたことを心より感謝申し上げます。

福岡県認知症医療センター 直方中村病院  
地域医療連携室一同